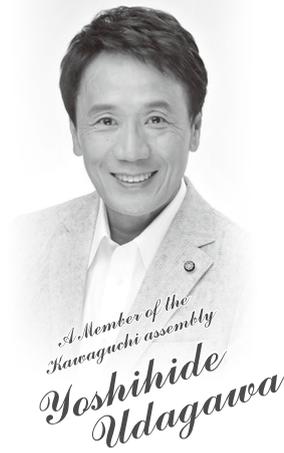


討議資料

宇田川よしひで

市議会ニュース

vol.101
2022年9月



「沢山の人の沢山の幸せを見たいから
今までもそしてこれからも頑張ります」

令和4年 第3回

9月市議会定例会

施政方針

令和4年9月2日～

9月29日までの28日間

市政に関する報告

9月議会に提案された議案は、予算議案3件、条例等の一般議案25件です。

予算議案については、一般会計において、緊急経済対策費等に係る32億3159万4千円の補正、また特別会計では、国民健康保険事業特別会計をはじめ2会計において、5459万3千円の補正。一般議案では、「川口市選挙運動費用の公費負担に関する条例の一部を改正する条例」など、条例議案10件、契約議案2件、損害賠償

の額の決定議案1件、専決処分の承認議案1件、市道路線の認定及び廃止議案4件、決算認定議案4件、人事議案3件です。なお、9月20日にコロナワクチン接種にかかる追加補正、更に9月29日に生活困窮者への一律5万円給付の追加補正予算案1件が追加補正されました。

原油価格・物価高騰による支援策について

コロナ禍が長期化する中で、ウクライナ情勢、円安の進行等が加わり、燃料費や光熱費、食料品、原材料など、様々な価格の高騰が続く、市民生活と市内経済に大きな影響を与えてい

ます。そこで、国の交付金等を活用し、総額21億円規模の緊急総合経済対策を行います。まず、生活者への支援として、生活保護受給世帯を含む低所得の子育て世帯に対し、市独自の給付金を支給するほか、価格が高騰する食材の調達に苦慮している市内小中学校の給食については、食材の値上げ分を公費で補填し、保護者が負担する学校給食費を据え置きます。

また、事業者に対しましては、燃料費や原材料費高騰の影響が顕著に出ている製造業者、運送業者をはじめ、保育、介護、福祉事業者等の運営を支援するため、補正予算案を組み、適時適切な対策を講じます。

たたら祭りについて

8月の27、28日の2日間川口オートレース場で3年ぶりに、たたら祭りが開催されました。流し踊りとサンパレードは中止となりましたが、会場の入り口で一人ひとり検温するなど、感染防止対策を万全にしながらの開催となりました。2日間で30万人を超える多くの来場者で賑わい、会場にあふれる笑顔や、フィナーレの花火を多くの人たちが夢中になって見ておりました。



たたら祭り

新型コロナウイルス感染症について

本市では、9月1日まで、8万4371人の方が陽性と確認され、175人の方がお亡くなりになりました。謹んで哀悼の意を表しますとともに、治療中の方々に心からお見舞いを申し上げます。本市では、8月11日に過去最多となる1日に1305人の陽性が確認され、7月と8月の2カ月間に3万4千人を超える爆発的な陽性者数を記録し、市内の医療提供体制や保健所の対応などのひっ迫が続いています。こうしたことから、市内医療機関の負担軽減を図るため、「川口市陽性者登録システム」を新た

に導入し、無料配布した抗原定性検査キットで陽性の場合、医療機関を受診しなくても市保健所で陽性の確定診断を行えることにしました。さらに、各部署の職員や派遣職員の増員に加え、川口市PCR検査センターの拡充など保健所機能の強化充実に努めました。

がん患者急性期緩和ケア病棟について

川口市立医療センターは、厚生労働省から「地域がん診療連携拠点病院」に指定されて以来、がん患者やその家族に対して、がんの種類やステージに応じて、手術療法や化学療法、放射線療法などを効果的に組み

合わせた治療と、がん診断された段階から緩和ケアも並行した総合的ながん治療を一般病棟において行い、退院後も緩和ケア外来にて継続的な診療を提供していきます。

一般病棟では治療に専念し、がん患者やその家族の心と体の痛みに寄り添う緩和ケアについては専用病棟により提供する必要があることから、医療センター7階にがん患者やその家族の実情に合うようタイプの異なる18病室を整備しました。がん患者やその家族に対して、オープン後はこれまで以上にがん診療科と緩和ケアチームが連携した総合的な治療が可能となります。

避難行動要支援者 対策について

近年増加する線状降水帯による集中豪雨は、日本各地で河川の氾濫や土砂崩れ等甚大な被害をもたらしています。また、東日本大震災以降も地震が頻発しており首都直下地震がいつ起きても不思議でない状況であり、いつ起こるか分からない自然災害に対して、日頃から備えが何よりも重要であると、認識しています。その備えの一つに避難行動がありますが、市民の中には、自身や家族の力だけでは安全な場所に避難することができない避難行動要支援者があり、この方々が地域の皆さんの力を借りて自宅から直接、かつ円滑に福祉避難所へ

避難ができる体制づくりが重要です。しかし、福祉避難所の数には限りがあり、まずは避難所の福祉スペースを増やし、並行して福祉避難所の拡充に努め、特別な配慮を必要とする方を受け入れられる体制を整えているところ中です。こうした中、埼玉県の「災害時要配慮者避難体制サポート事業」にモデル市として選出されたことから、県と市、有識者による検討会を設置し、災害発生時に一人でも多くの避難行動要支援者の命と身体を守るために地域と行政が一体となって、真に福祉避難所への直接避難が必要とされる方の体制づくりに取り組み始めました。

※ここまでの内容は市長の所信と報告を抜粋・加筆して作成しております。

議会一般質問への回答

●子ども医療費の接骨院・整骨院での保険適用分の施術代の窓口払い無料化について(奥ノ木市長回答)

窓口無料化の適用範囲のさらなる拡充については、多くの子育て世帯の経済的負担の軽減、利便性の向上に資するものであり、さらなる子育てしやすい街づくりの推進に寄与すると考えますことから、市内の接骨院等での窓口無料化について、来年4月(2023年4月)からの適用開始に向けて取り組みます。

●SKIPシティに整備されるNHK施設について(奥ノ木市長回答)

B街区全てを活用し、国内最大級の1,000平方メートル相当のドラマスタジオを含む6つのスタジオを建設することになり、大河ドラマや朝の連続テレビ小説など、東京で製作されるNHKドラマの大部分を製作することとなります。更には、19年の長きにわたり活用されなかったSKIPシティB街区、C街区を開発することにより、固定資産税や土地の貸付料等だけでも毎年2億円前後の増収が想定されます。



SKIPシティ全景

議会一般質問への回答

●新型コロナウイルス感染症における市保健所の対応について(保健部長回答)

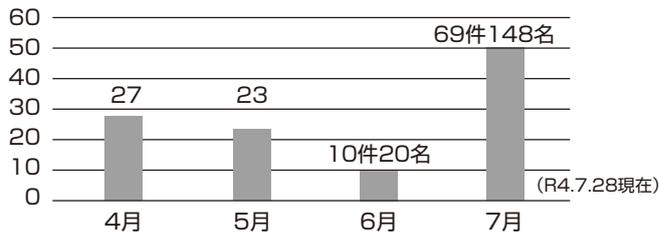
市内の医療機関への対応については、軽傷の方で重症化リスクの低いと考えられる有症状の方等に対しまして、抗原定性検査キットを12,693個配布するとともに、市独自に「川口市陽性者登録システム」を導入し、9月9日までに2,527件の確定診断を行い、医療機関の負担軽減に努めたところです。また、市保健所では、陽性者専用コールセンターの回線の増設や貸出用酸素濃縮装置の拡充を図るとともに、感染状況に応じて、適宜、市職員や派遣職員を増員し、効率的かつ迅速に対応したところです。

高齢者及び障害者施設等従事者に対する抗原検査実施事業費助成金

予算139,524千円

- 新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は急速に拡大しており、第7波が到来している。
- 市内高齢者施設等ではクラスターが発生しており、感染者数も増加傾向にある。
- 国の新型コロナウイルス感染症対策推進本部において、「入所系の高齢者施設等については、集中的実施計画に基づく集中検査を実施することを要請します。(中略)通所系や訪問系の事業所についても、積極的に対象とすることを改めて検討」することとされた趣旨を踏まえ、本市の高齢者施設等における抗原検査実施体制を強化する。

市内介護事業所の感染状況



事業概要

金額 / 1回当たり1,500円

対象 / 介護及び障害福祉の施設等

抗原定性検査キット費用の助成

期間 / R4.8.6~10.28(最大12週間)×週2回

他市の対応

	埼玉県	さいたま市	川崎市	越谷市
対象サービス	施設、通所、訪問	施設、通所、訪問	施設、通所、訪問	施設、通所、訪問
対象者	従事者	従事者 新規利用者	従事者 利用者	従事者
検査実施頻度	7/23~ 週2回×8週	R4.7~PCR 10~抗原 検査	職員週2回 ×8週 利用者1回	8/6~ 週2回×8週
検査種類	抗原定性 検査補助	PCR検査 →抗原検査 キット配布	抗原定性 検査 キット配布	抗原定性 検査補助

予算及び財源

① 8月実施分	<u>予備費対応</u>
介護分 →	21,660千円
障害分 →	6,000千円
② 9~10月実施分	<u>9月補正対応</u>
介護分 →	86,664千円
障害分 →	25,200千円
計 介護分 →	108,324千円
障害分 →	31,200千円
合計	<u>139,524千円</u>

編集発行

川口市議会議員

宇田川 好秀

埼玉県川口市安行1117

TEL.048-294-3131 FAX.048-296-7070

印刷/コスモプリンツ株式会社

市政情報
発信



<http://gakkainavi.com/udagawa/report.html>

宇田川レポート更新中!!